

各種専門委員会について（議案4資料）

日本連盟理事会

国体準備委員会

委員長	矢島孝一郎	
副委員長	鈴木 浩次（総務）	※新任
副委員長	谷川 大（競技運営）	※新任
副委員長	前東 篤子（競技運営）	※新任
副委員長	及川 佳織（審判）	※新任
副委員長	吉田由美子（太極拳部会）	
副委員長	中村 剛（長拳部会）	

財務委員会

※新設

委員長	渡部 健一（京都府連盟理事長）
副委員長	森田 省吾（東京都連盟常務理事）

財務委員会は、国体公開競技、ブロック国体予選の実施に向けて、恒常的で安定した財源の確保を目的と

して、財政運営並びに諸費用を精査して理事会に提言する。

事業運営委員会（仮称）の新設

日本連盟の重点事業（各種競技会、認定事業講習会、国際交流、記念事業等）を事務局と協同して円滑に進めることを目的として、各専門技術を有する非常勤スタッフで構成して各事業を実施する。

事業運営委員会の構成は、2017年度の理事会に提案する。

組織整備委員会

委員長	川崎 雅雄	
副委員長	大沢 藍未（人権）	※新任
副委員長	三浦 義則（コンプライアンス）	※新任

太極拳技能検定1級・初段の同日、同会場での実施について（議案6資料）

日本連盟太極拳技能検定委員会

太極拳技能検定制度により、実施主体は5～2級が「団体」、1級が「都道府県連盟」、初段以上が「日本連盟」となっている。従来、実施主体ごとに日時や会場を変えて実施していたが、5～1級の検定実施回数に制限がなくなり、1会場での受験者数が極端に低い事例も発生している。

このような懸案に対処するため、「各都道府県連盟が実施主体となる1級に関しては、初段と同時実施することができる」という制度改定を提案する。

これにより、日本連盟が会場費等を負担するなど都道府県連盟の経費節減が見込めること、さらに、5～2級も同時実施が可能であれば、各団体においても実質的に経費削減を見込め、運営負担を軽減できることになる。

なお、初段を加えて実施する場合の留意点として、初段のスケジュール等を優先すること以外は、従来の運営方法を変える必要はない。

日本連盟機関誌「武術太極拳」年間購読料改定の件（議案7資料）

日本連盟事務局

昨年1月の理事会・総会にて、消費税の改定に伴う日本連盟機関誌「武術太極拳」の年間購読料の改定（値上げ）を提起しましたが、消費税の再改定（10%）は先送りになりましたが、各部門の収支を検査するなかで、2017年度予算での年間購読料改定の審議をお願いしたいと思います。
（中略）

<購読料改定>

- ・年間購読料＝改定3,000円（@250円）
現行2,400円（@200円）

<購読料改定に伴う改良策>

- ・表紙の表裏（2ページ）を現状の2色から4色にする（8月号からを予定）。狙いは、協賛社向けの広告媒体力の向上です。